

平成27年度

市政アンケート調査  
結果報告書

平成27年8月

熊本市

# 目次

---

概要	1
標本構成	2
I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について	3
	【都市政策課】
1 居住環境及び公共交通機関の利用について	
問1 あなたは、どのような地域に住みたいですか。	
問2 あなたは、自宅から自家用車を使わずに行けるところ（公共交通や自転車、徒歩等で行けるところ）にどのような日常生活サービス施設があれば、生活しやすいですか。	
問3 問2で回答したような施設を徒歩や自転車で利用する際、あなたは、その施設までの所要時間はどのくらいまでなら許容できますか。	
問4 あなたが、鉄道（JRや熊本電鉄）を利用する際、徒歩で居住地から駅までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。	
問5 あなたが、市電を利用する際、徒歩で居住地から電停までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。	
問6 あなたが、バスを利用する際、徒歩で居住地からバス停までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。	
問7 バスの運行間隔として、あなたは、何分間隔まで許容できますか。	
2 人口減少・超高齢社会について	
問8 あなたは、熊本市の人口が将来減少見込みであること、また少子高齢化が進展見込みであることについて知っていましたか。	
問9 あなたは、人口減少・超高齢社会が進展すると、具体的にどういった問題が生じると思いますか。	
問10 今後の熊本市のまちづくりについて、あなたが望むことをご記入ください。	

## 概要

### ○調査対象者

熊本市在住の満18歳～79歳までの男女5,000人（住民基本台帳より無作為抽出）

### ○調査期間

平成27年7月

### ○調査方法

郵送による配布・回収

### ○アンケート回収結果

有効回収数・・・2,068件（有効回収率 41.4%）

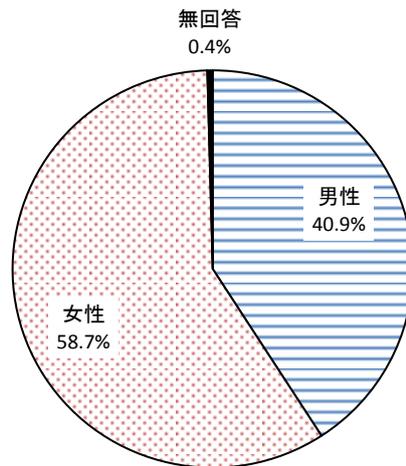
### ○調査結果利用上の注意

- 〔1〕回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- 〔2〕2つ以上の回答を要する設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は100%にならない場合がある。
- 〔3〕基数とすべき実数は、図表中に“N”（Number of case）として記載。
- 〔4〕各ページの回答選択肢は、上部グラフに表記し、集計表は、同一アルファベットで表記することで、回答選択肢を省略している。
- 〔5〕標本調査における誤差は、比率算出の標本数（有効回答者数N）と比率（回答率）によって異なる。本調査における誤差は、回答率が50%の場合、「全体（N=2,068）」 $\pm 2.20\%$ （47.8%～52.2%）、「男（n=845）」 $\pm 3.44\%$ 、「女（n=1,214）」 $\pm 2.87\%$ となる（信頼区間95%の場合）。標本数の少ない項目は誤差を生む可能性が大きく、標本数が100未満の項目については10%以上前後する可能性がある。

標本構成

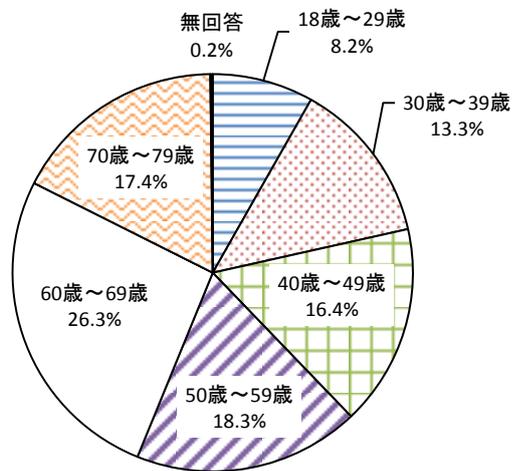
◆有効回答者内訳（男女別）

性別	件数	割合
男性	845	40.9%
女性	1,214	58.7%
無回答	9	0.4%
合計	2,068	100.0%



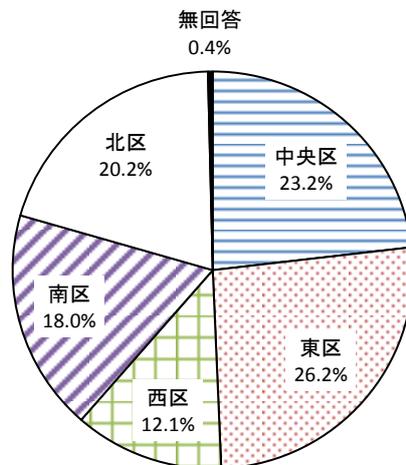
◆有効回答者内訳（年齢区分別）

年齢区分	件数	割合
18歳～29歳	169	8.2%
30歳～39歳	275	13.3%
40歳～49歳	339	16.4%
50歳～59歳	378	18.3%
60歳～69歳	544	26.3%
70歳～79歳	359	17.4%
無回答	4	0.2%
合計	2,068	100.0%



◆有効回答者内訳（行政区別）

中央区	479	23.2%
東区	541	26.2%
西区	250	12.1%
南区	373	18.0%
北区	417	20.2%
無回答	8	0.4%
合計	2,068	100.0%



# 市政アンケート調査結果について

## I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について

### 《アンケート内容》

本市では、人口減少・超高齢社会の進展が見込まれる中でも、市民にとって利便性が高く、長期的に都市活力を維持することを目的に、中心市街地と地域拠点を定めこれらを利用性の高い公共交通で結んだ「多核連携都市」（誰もが移動しやすく、快適で暮らしやすいコンパクトな都市）の実現に向けて取り組んでいます。

そこで、今回のアンケートでは、市民が思う「住みたいまち・暮らしやすいまち」とは何かを把握し、本市が目指す多核連携都市づくりに反映するため、住みたいまちの条件や、日常生活に求めるもの、公共交通の利用状況などについてお尋ねしました。

### 《アンケート結果》

#### 1 居住環境及び公共交通機関の利用について

##### （住みたい地域について）

「日常生活サービス施設が充実している地域」と回答した割合が約75%と最も高くなっており、次いで「公共交通の利便性が高い地域」が約47%であり、日常生活サービス施設や公共交通の利便性が高い地域を市民は求めていることがうかがえました。また、年齢が若いほど「道路や公園などの都市基盤が充実した地域」を求めている、年齢が高いほど「地域コミュニティ活動が活発な地域」を求めていることもうかがえました。

##### （日常生活に求めるものについて）

「生鮮食品や日常生活用品などが揃う商業施設や商店街」と回答した割合が約90%と最も高くなっており、次いで「かかりつけ医となるような日常的な医療施設」が約63%、「郵便局や銀行などの金融機関」が約59%であり、市民が日常生活に求めるサービスは主に商業施設、医療施設、金融施設であることがうかがえました。なお、年齢が高いほど「かかりつけ医となるような日常的な医療施設」や「高齢者のための福祉施設」の割合が高く、年齢が若い（子育て世代）ほど、「児童のための福祉施設」の割合が高いことから、世代に応じて必要な施設のニーズが異なることがうかがえました。

##### （公共交通の利用状況について）

徒歩による居住地から鉄道駅・電停・バス停までの許容時間について、10分以上歩ける割合は、鉄道駅は約55%、電停は約43%、バス停は約20%であり、鉄道駅や電停と比較してバス停までの許容時間は短いことがうかがえました。

#### 2 人口減少・超高齢社会について

##### （人口減少・超高齢社会への危機感について）

市の人口が将来減少の見込みであることを「知っていた」「概ね知っていた」と回答された方は約88%を占める状況でした。年齢別では、高齢になるほど「知っていた」と回答する人の割合が高く、60歳以上では約70%が「知っていた」と回答していますが、18～29歳では約29%が「知らなかった」と回答しており、若年層への浸透が今後重要であることがうかがえました。

人口減少・超高齢社会の進展による問題として、「税制の減少・社会保障費の増加により、市民への行政サービスが低下する」ことへの懸念が約69%と割合が最も高く、次いで「利用者の減少により、バス路線等が削減され、子供や高齢者など自家用車を利用できない人の移動が不便になる」が約66%という状況であり、行政サービスの低下や交通弱者の移動環境に関する危機意識が高いことがうかがえました。

### 《今後の方針》

今回の調査結果から、市民がどのような地域に住みたいのか、市民にとって暮らしやすい地域はどのような地域なのかがうかがえました。また、公共交通の利用についても鉄道駅やバス停まで歩ける許容時間やバスに求める運行頻度などがうかがえました。

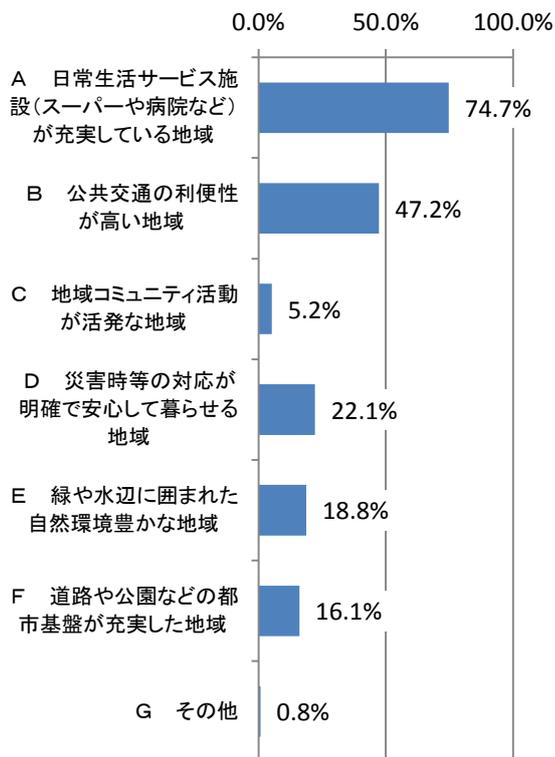
人口減少・超高齢社会の進展により生じる様々な問題については、市民の多くが危機感を持っており、将来に亘って熊本市が暮らしやすい都市であり続けることを目的として、現在策定に取り組んでいる立地適正化計画等においては、多核連携都市の実現がどのように市民の皆様の暮らしやすさに繋がるのかを分かりやすく示していきます。

【都市政策課】

# I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について

問1 あなたは、どのような地域に住みたいですか。（2つまで）

## 【全体合計の割合】



## 【集計分析】

●全体では、「日常生活サービス施設が充実している地域」と回答した割合が約75%と最も高くなっており、次いで「公共交通の利便性が高い地域」が約47%という結果となった。

●区別においても全体とほぼ同様の傾向となっており、区によって住みたい地域に大きな差はないものと思われる。

●年齢別でも全体とほぼ同様の傾向となっているが、年齢が若いほど「道路や公園などの都市基盤が充実した地域」の割合が高く、年齢が高いほど「地域コミュニティ活動が活発な地域」の割合が高くなっている。

## 【その他 主な意見】

- ・子育てがしやすい地域
- ・子どもが安全に暮らせる地域
- ・治安がよい
- ・働く場所がある など

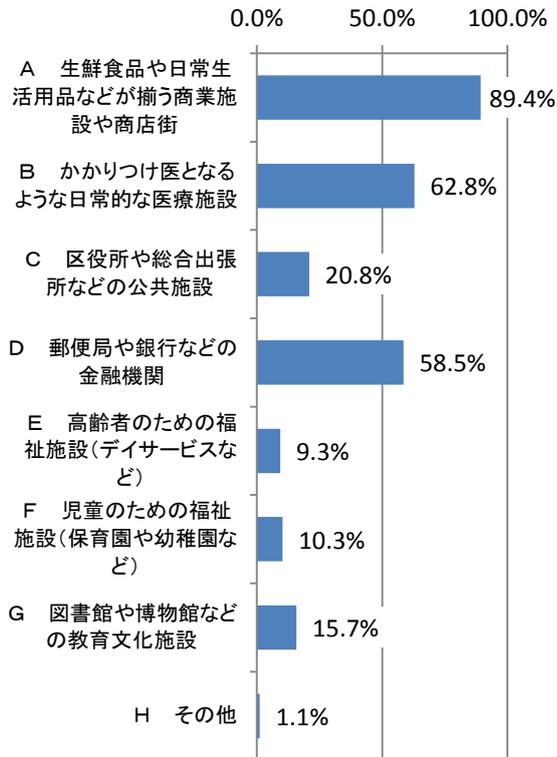
N=2068

（上段：人 下段：％）

		合計	A	B	C	D	E	F	G
全体合計		2,068	1,544 74.7%	977 47.2%	108 5.2%	458 22.1%	388 18.8%	332 16.1%	17 0.8%
性別	男性	845	593 70.2%	377 44.6%	39 4.6%	169 20.0%	189 22.4%	172 20.4%	10 1.2%
	女性	1,214	946 77.9%	598 49.3%	69 5.7%	288 23.7%	197 16.2%	160 13.2%	7 0.6%
行政区別	中央区	479	368 76.8%	248 51.8%	28 5.8%	89 18.6%	87 18.2%	70 14.6%	7 1.5%
	東区	541	403 74.5%	269 49.7%	24 4.4%	117 21.6%	101 18.7%	87 16.1%	2 0.4%
	西区	250	175 70.0%	117 46.8%	11 4.4%	73 29.2%	49 19.6%	32 12.8%	1 0.4%
	南区	373	277 74.3%	158 42.4%	20 5.4%	84 22.5%	70 18.8%	66 17.7%	1 0.3%
	北区	417	317 76.0%	184 44.1%	25 6.0%	95 22.8%	77 18.5%	75 18.0%	6 1.4%
年齢区別	18～29歳	169	133 78.7%	75 44.4%	6 3.6%	28 16.6%	29 17.2%	43 25.4%	3 1.8%
	30～39歳	275	204 74.2%	118 42.9%	13 4.7%	51 18.5%	57 20.7%	78 28.4%	2 0.7%
	40～49歳	339	251 74.0%	196 57.8%	8 2.4%	63 18.6%	54 15.9%	63 18.6%	6 1.8%
	50～59歳	378	291 77.0%	178 47.1%	22 5.8%	93 24.6%	79 20.9%	46 12.2%	3 0.8%
	60～69歳	544	394 72.4%	250 46.0%	35 6.4%	139 25.6%	115 21.1%	68 12.5%	3 0.6%
	70～79歳	359	269 74.9%	160 44.6%	24 6.7%	84 23.4%	53 14.8%	34 9.5%	0 0.0%

問2 あなたは、自宅から自家用車を使わずに行けるところ（公共交通や自転車、徒歩等で行けるところ）にどのような日常生活サービスがあれば、生活しやすいですか。（3つまで）

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「生鮮食品や日常生活用品などが揃う商業施設や商店街」と回答した割合が約90%と最も高くなっており、次いで「かかりつけ医となるような日常的な医療施設」が約63%と高い結果となった。

●区別においても全体とほぼ同様の傾向となっているが、東区や西区では「高齢者のための福祉施設」が、南区や北区では「児童のための福祉施設」が他の区と比較して若干高くなっている。

●年齢別では、年齢が高いほど「かかりつけ医となるような日常的な医療施設」や「高齢者のための福祉施設」に対する割合が高くなっている。また、年齢が若いほど「児童のための福祉施設」に対する割合が高く、子育て世代のニーズがうかがえる。

【その他 主な意見】

- ・コンビニ
- ・公園、遊歩道 など

N=2068

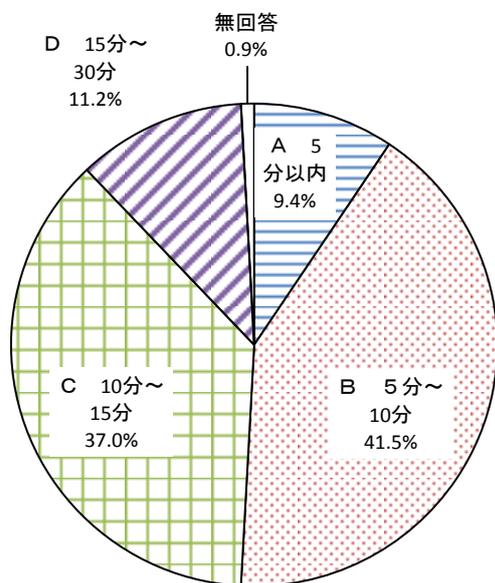
(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	E	F	G	H
全体合計		2,068	1,848 89.4%	1,299 62.8%	431 20.8%	1,209 58.5%	193 9.3%	212 10.3%	325 15.7%	23 1.1%
性別	男性	845	750 88.8%	503 59.5%	174 20.6%	457 54.1%	92 10.9%	86 10.2%	144 17.0%	12 1.4%
	女性	1,214	1,093 90.0%	792 65.2%	256 21.1%	750 61.8%	99 8.2%	124 10.2%	180 14.8%	11 0.9%
行政区別	中央区	479	430 89.8%	302 63.0%	89 18.6%	281 58.7%	40 8.4%	43 9.0%	99 20.7%	2 0.4%
	東区	541	483 89.3%	328 60.6%	120 22.2%	334 61.7%	55 10.2%	51 9.4%	80 14.8%	6 1.1%
	西区	250	215 86.0%	169 67.6%	60 24.0%	142 56.8%	29 11.6%	18 7.2%	39 15.6%	3 1.2%
	南区	373	331 88.7%	225 60.3%	69 18.5%	211 56.6%	28 7.5%	52 13.9%	50 13.4%	5 1.3%
	北区	417	383 91.8%	270 64.7%	92 22.1%	237 56.8%	41 9.8%	47 11.3%	56 13.4%	7 1.7%
年齢区別	18~29歳	169	162 95.9%	85 50.3%	32 18.9%	104 61.5%	2 1.2%	33 19.5%	32 18.9%	2 1.2%
	30~39歳	275	246 89.5%	149 54.2%	49 17.8%	155 56.4%	3 1.1%	94 34.2%	54 19.6%	7 2.5%
	40~49歳	339	307 90.6%	225 66.4%	80 23.6%	224 66.1%	14 4.1%	34 10.0%	52 15.3%	1 0.3%
	50~59歳	378	338 89.4%	253 66.9%	85 22.5%	230 60.8%	25 6.6%	15 4.0%	54 14.3%	8 2.1%
	60~69歳	544	480 88.2%	345 63.4%	118 21.7%	306 56.3%	69 12.7%	21 3.9%	100 18.4%	4 0.7%
	70~79歳	359	313 87.2%	241 67.1%	67 18.7%	188 52.4%	80 22.3%	14 3.9%	33 9.2%	1 0.3%

# I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について

問3（徒歩） 問2で回答したような施設を徒歩で利用する際、あなたは、その施設までの所要時間はどのくらいまでなら許容できますか。（1つだけ）

【全体合計の割合】



【集計分析】

- 全体では、5分以内が約9%、5分~10分が約42%、10分~15分が約37%を占める状況である。
- 区別では、全体とほぼ同様の傾向となっているが、南区においては「5分以内」が約14%で、他の区と比較して高くなっている。
- 年齢別では、年齢が若いほど許容できる時間は短く、高齢になるほどより長い時間歩くことを許容できる傾向となっている。60歳以上では「15分~30分」が約14~16%を占める状況。

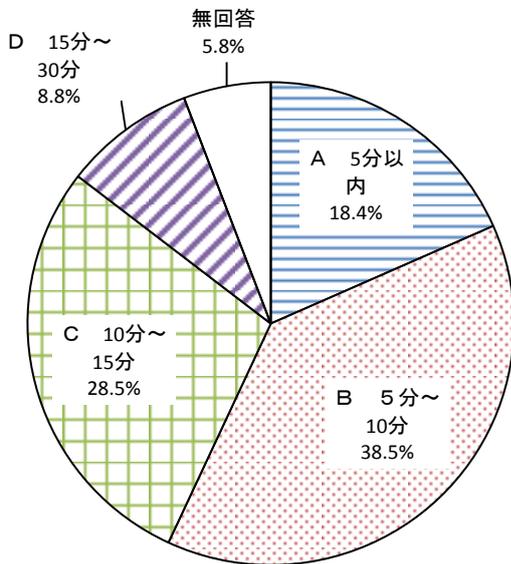
N=2068

(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	無回答
全体合計		2,068	194	858	766	232	18
		100.0%	9.4%	41.5%	37.0%	11.2%	0.9%
性別	男性	845	73	352	311	103	6
		100.0%	8.6%	41.7%	36.8%	12.2%	0.7%
性別	女性	1,214	120	503	454	127	10
		100.0%	9.9%	41.4%	37.4%	10.5%	0.8%
行政区別	中央区	479	39	202	180	57	1
		100.0%	8.1%	42.2%	37.6%	11.9%	0.2%
	東区	541	47	233	204	49	8
		100.0%	8.7%	43.1%	37.7%	9.1%	1.5%
	西区	250	21	94	96	36	3
		100.0%	8.4%	37.6%	38.4%	14.4%	1.2%
行政区別	南区	373	52	156	119	45	1
		100.0%	13.9%	41.8%	31.9%	12.1%	0.3%
行政区別	北区	417	35	172	165	42	3
		100.0%	8.4%	41.2%	39.6%	10.1%	0.7%
年齢区別	18~29歳	169	27	68	52	22	0
		100.0%	16.0%	40.2%	30.8%	13.0%	0.0%
	30~39歳	275	28	129	106	11	1
		100.0%	10.2%	46.9%	38.5%	4.0%	0.4%
	40~49歳	339	42	155	121	21	0
		100.0%	12.4%	45.7%	35.7%	6.2%	0.0%
	50~59歳	378	41	160	132	42	3
	100.0%	10.8%	42.3%	34.9%	11.1%	0.8%	
年齢区別	60~69歳	544	28	211	218	85	2
		100.0%	5.1%	38.8%	40.1%	15.6%	0.4%
年齢区別	70~79歳	359	28	134	137	50	10
		100.0%	7.8%	37.3%	38.2%	13.9%	2.8%

問3（自転車） 問2で回答したような施設を自転車で利用する際、あなたは、その施設までの所要時間はどのくらいまでなら許容できますか。（1つだけ）

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、5分以内が約18%、5分~10分が約39%、10分~15分が約29%を占める状況である。

●区別では、全体とほぼ同様の傾向となっているとともに、区毎に大きな違いは見られない状況である。

●年齢別でも全体の傾向と大きな違いは見られない状況であるが、60~69歳において「15分~30分」が約12%を占める状況であり、他の年代と比較して若干高い傾向にある。

N=2068

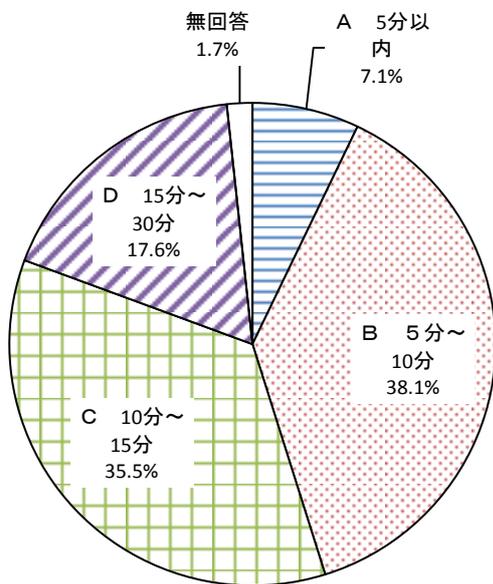
(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	無回答
全体合計		2,068 100.0%	380 18.4%	797 38.5%	590 28.5%	181 8.8%	120 5.8%
性別	男性	845 100.0%	172 20.4%	340 40.2%	240 28.4%	78 9.2%	15 1.8%
	女性	1,214 100.0%	206 17.0%	456 37.6%	348 28.7%	102 8.4%	102 8.4%
行政区別	中央区	479 100.0%	77 16.1%	192 40.1%	135 28.2%	42 8.8%	33 6.9%
	東区	541 100.0%	103 19.0%	200 37.0%	163 30.1%	48 8.9%	27 5.0%
	西区	250 100.0%	43 17.2%	96 38.4%	75 30.0%	22 8.8%	14 5.6%
	南区	373 100.0%	71 19.0%	154 41.3%	101 27.1%	33 8.8%	14 3.8%
	北区	417 100.0%	86 20.6%	154 36.9%	114 27.3%	34 8.2%	29 7.0%
年齢区別	18~29歳	169 100.0%	25 14.8%	68 40.2%	63 37.3%	11 6.5%	2 1.2%
	30~39歳	275 100.0%	55 20.0%	125 45.5%	73 26.5%	18 6.5%	4 1.5%
	40~49歳	339 100.0%	63 18.6%	156 46.0%	96 28.3%	24 7.1%	0 0.0%
	50~59歳	378 100.0%	79 20.9%	146 38.6%	115 30.4%	29 7.7%	9 2.4%
	60~69歳	544 100.0%	89 16.4%	198 36.4%	155 28.5%	66 12.1%	36 6.6%
	70~79歳	359 100.0%	69 19.2%	104 29.0%	87 24.2%	33 9.2%	66 18.4%

# I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について

問4 あなたが、鉄道（JRや熊本電鉄）を利用する際、徒歩で居住地から駅までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。（1つだけ）

【全体合計の割合】



【集計分析】

- 全体では、5分以内が約7%、5分~10分が約38%、10分~15分が約36%を占める状況である。
- 区別では、全体とほぼ同様の傾向となっているが、西区において「15分~30分」が約22%を占めており、他の区と比較して若干高くなっている。
- 年齢別では、高齢になるほどより長い時間歩くことを許容する傾向になり、70歳以上では「15分~30分」が約26%を占める状況である。

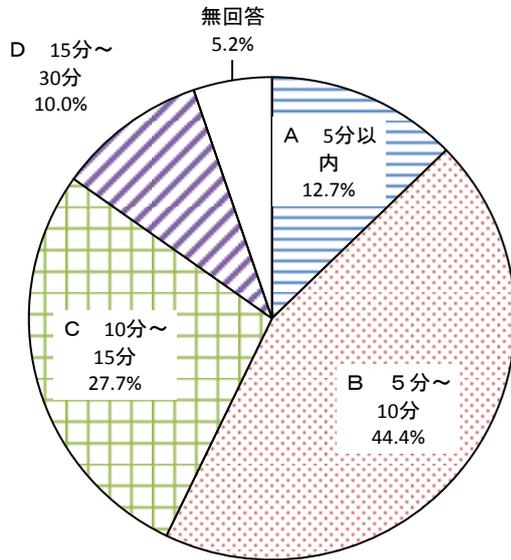
N=2068

(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	無回答
全体合計		2,068 100.0%	147 7.1%	787 38.1%	734 35.5%	365 17.6%	35 1.7%
性別	男性	845 100.0%	54 6.4%	284 33.6%	329 38.9%	166 19.6%	12 1.4%
	女性	1,214 100.0%	93 7.7%	502 41.4%	402 33.1%	197 16.2%	20 1.6%
行政区別	中央区	479 100.0%	34 7.1%	183 38.2%	177 37.0%	82 17.1%	3 0.6%
	東区	541 100.0%	33 6.1%	190 35.1%	201 37.2%	105 19.4%	12 2.2%
	西区	250 100.0%	16 6.4%	88 35.2%	89 35.6%	55 22.0%	2 0.8%
	南区	373 100.0%	31 8.3%	149 39.9%	122 32.7%	62 16.6%	9 2.4%
	北区	417 100.0%	32 7.7%	177 42.4%	142 34.1%	59 14.1%	7 1.7%
	年齢区別	18~29歳	169 100.0%	16 9.5%	72 42.6%	59 34.9%	22 13.0%
	30~39歳	275 100.0%	19 6.9%	126 45.8%	96 34.9%	33 12.0%	1 0.4%
	40~49歳	339 100.0%	28 8.3%	146 43.1%	118 34.8%	46 13.6%	1 0.3%
	50~59歳	378 100.0%	35 9.3%	158 41.8%	113 29.9%	68 18.0%	4 1.1%
	60~69歳	544 100.0%	30 5.5%	185 34.0%	219 40.3%	103 18.9%	7 1.3%
	70~79歳	359 100.0%	19 5.3%	100 27.9%	128 35.7%	92 25.6%	20 5.6%

問5 あなたが、市電を利用する際、徒歩で居住地から電停までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。（1つだけ）

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、5分以内が約13%、5分~10分が約44%、10分~15分が約28%を占める状況であり、鉄道駅と比較して許容可能な徒歩時間が若干短い状況である。

●区別では、中央区において「5分以内」が約17%と他の区と比較して高くなっており、現状において市電をよく利用している影響と思われる。

●年齢別では、若年層ほどより長い時間歩くことを敬遠する傾向にあり、18~29歳においては、「5分以内」が約18%と他の年齢と比較して高い状況である。

N=2068

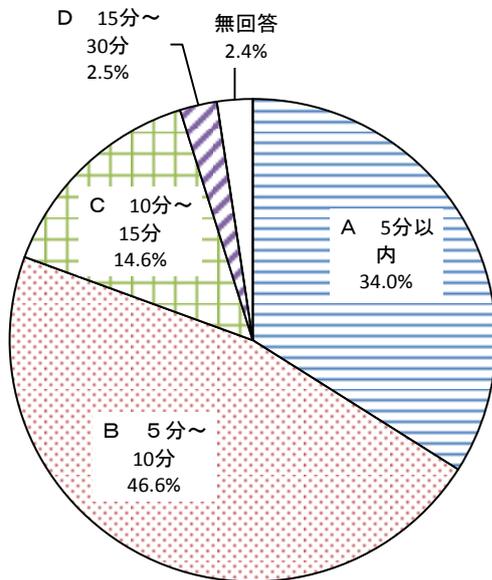
(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	無回答
全体合計		2,068	263	919	572	206	108
		100.0%	12.7%	44.4%	27.7%	10.0%	5.2%
性別	男性	845	96	347	253	104	45
		100.0%	11.4%	41.1%	29.9%	12.3%	5.3%
女性	1,214	166	570	318	101	59	
		100.0%	13.7%	47.0%	26.2%	8.3%	4.9%
行政区別	中央区	479	81	231	116	40	11
		100.0%	16.9%	48.2%	24.2%	8.4%	2.3%
	東区	541	64	243	163	50	21
		100.0%	11.8%	44.9%	30.1%	9.2%	3.9%
	西区	250	31	109	60	38	12
		100.0%	12.4%	43.6%	24.0%	15.2%	4.8%
	南区	373	45	167	103	33	25
		100.0%	12.1%	44.8%	27.6%	8.8%	6.7%
	北区	417	41	168	128	43	37
		100.0%	9.8%	40.3%	30.7%	10.3%	8.9%
年齢区別	18~29歳	169	30	68	51	19	1
		100.0%	17.8%	40.2%	30.2%	11.2%	0.6%
	30~39歳	275	35	134	80	21	5
		100.0%	12.7%	48.7%	29.1%	7.6%	1.8%
	40~49歳	339	36	189	83	23	8
		100.0%	10.6%	55.8%	24.5%	6.8%	2.4%
	50~59歳	378	57	170	106	36	9
	100.0%	15.1%	45.0%	28.0%	9.5%	2.4%	
60~69歳	544	68	219	166	58	33	
	100.0%	12.5%	40.3%	30.5%	10.7%	6.1%	
70~79歳	359	37	138	86	48	50	
	100.0%	10.3%	38.4%	24.0%	13.4%	13.9%	

# I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について

問6 あなたが、バスを利用する際、徒歩で居住地からバス停までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。（1つだけ）

【全体合計の割合】



【集計分析】

- 全体では、5分以内が約34%、5分～10分が約47%を占める状況であり、鉄道駅や市電電停と比較して許容可能な徒歩時間がかなり短い状況である。
- 区別では、「5分以内」の割合が南区や北区で他の区と比較して低くなっており、現在のバス停密度が影響していると思われる。
- 年齢別では、高齢になるほどより長い時間歩くことを許容する傾向にあり、60歳以上では「10分～15分」が約18%と他の年齢と比較して高い状況である。

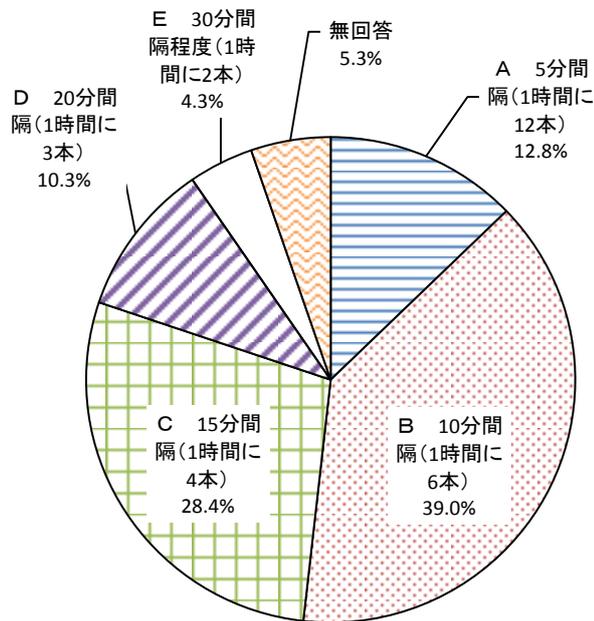
N=2068

(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	無回答
全体合計		2,068	703	964	301	51	49
		100.0%	34.0%	46.6%	14.6%	2.5%	2.4%
性別	男性	845	266	395	130	31	23
		100.0%	31.5%	46.7%	15.4%	3.7%	2.7%
性別	女性	1,214	434	566	171	19	24
		100.0%	35.7%	46.6%	14.1%	1.6%	2.0%
行政区別	中央区	479	184	220	61	7	7
		100.0%	38.4%	45.9%	12.7%	1.5%	1.5%
	東区	541	183	252	82	10	14
		100.0%	33.8%	46.6%	15.2%	1.8%	2.6%
	西区	250	90	110	33	8	9
		100.0%	36.0%	44.0%	13.2%	3.2%	3.6%
	南区	373	121	181	52	12	7
		100.0%	32.4%	48.5%	13.9%	3.2%	1.9%
	北区	417	124	198	71	14	10
		100.0%	29.7%	47.5%	17.0%	3.4%	2.4%
年齢区別	18～29歳	169	63	80	23	2	1
		100.0%	37.3%	47.3%	13.6%	1.2%	0.6%
	30～39歳	275	115	125	30	3	2
		100.0%	41.8%	45.5%	10.9%	1.1%	0.7%
	40～49歳	339	139	163	31	3	3
		100.0%	41.0%	48.1%	9.1%	0.9%	0.9%
	50～59歳	378	144	169	53	9	3
	100.0%	38.1%	44.7%	14.0%	2.4%	0.8%	
60～69歳	544	148	257	101	21	17	
	100.0%	27.2%	47.2%	18.6%	3.9%	3.1%	
70～79歳	359	94	168	63	13	21	
	100.0%	26.2%	46.8%	17.5%	3.6%	5.8%	

問7 (急いでいるとき) バスの運行間隔として、あなたは、何分間隔まで許容できますか。  
(1つだけ)

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では「15分間隔」以上許容できる割合は約43%で、「10分間隔」まで含めると約82%を占める状況である。

●区別では、中央区において「5分間隔」が約18%と他の区と比較して高くなっており、現在のバスのサービス水準の影響と思われる。

●年齢別では、若い世代ほどより多くの運行本数を希望しており、通勤通学時に利用する際に求めるサービス水準と思われる。

N=2068

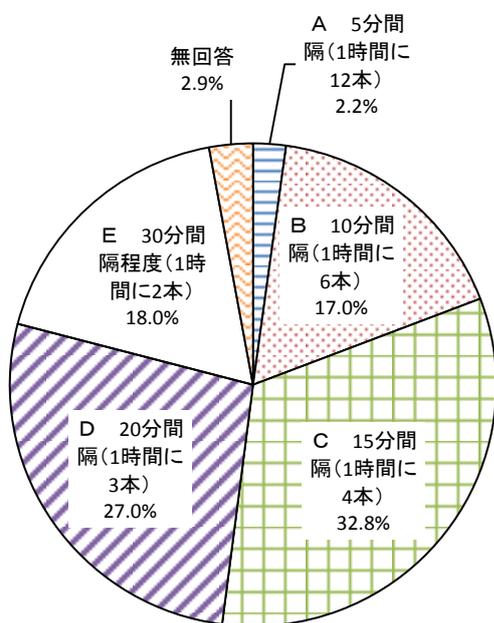
(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	E	無回答
全体合計		2,068	264	807	587	212	89	109
		100.0%	12.8%	39.0%	28.4%	10.3%	4.3%	5.3%
性別	男性	845	78	327	272	90	46	32
		100.0%	9.2%	38.7%	32.2%	10.7%	5.4%	3.8%
性別	女性	1,214	185	478	314	120	43	74
		100.0%	15.2%	39.4%	25.9%	9.9%	3.5%	6.1%
行政区別	中央区	479	85	208	120	36	9	21
		100.0%	17.7%	43.4%	25.1%	7.5%	1.9%	4.4%
	東区	541	70	211	161	58	12	29
		100.0%	12.9%	39.0%	29.8%	10.7%	2.2%	5.4%
	西区	250	27	100	67	23	14	19
		100.0%	10.8%	40.0%	26.8%	9.2%	5.6%	7.6%
	南区	373	39	142	110	45	20	17
		100.0%	10.5%	38.1%	29.5%	12.1%	5.4%	4.6%
	北区	417	43	146	127	49	32	20
		100.0%	10.3%	35.0%	30.5%	11.8%	7.7%	4.8%
年齢区別	18~29歳	169	27	81	40	11	7	3
		100.0%	16.0%	47.9%	23.7%	6.5%	4.1%	1.8%
	30~39歳	275	42	114	83	28	6	2
		100.0%	15.3%	41.5%	30.2%	10.2%	2.2%	0.7%
	40~49歳	339	57	165	90	18	4	5
		100.0%	16.8%	48.7%	26.5%	5.3%	1.2%	1.5%
	50~59歳	378	56	156	110	38	13	5
	100.0%	14.8%	41.3%	29.1%	10.1%	3.4%	1.3%	
60~69歳	544	59	181	170	69	31	34	
	100.0%	10.8%	33.3%	31.3%	12.7%	5.7%	6.3%	
70~79歳	359	23	110	94	47	28	57	
	100.0%	6.4%	30.6%	26.2%	13.1%	7.8%	15.9%	

# I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について

問7 (急いでいない時) バスの運行間隔として、あなたは、何分間隔まで許容できますか。  
(1つだけ)

【全体合計の割合】



【集計分析】

- 全体では「15分間隔」以上許容できる割合は約78%で、「10分間隔」まで含めると約95%を占める状況であり、急いでいる場合と比較すると少ない運行間隔で許容できる状況である。
- 区別では、全体とほぼ同様の傾向となっているが、中央区において「10分間隔」が約24%と他の区と比較して高くなっている。
- 年齢別では、全体とほぼ同様の傾向にあり、「15分間隔」が30~40%と最も多くを占める状況である。

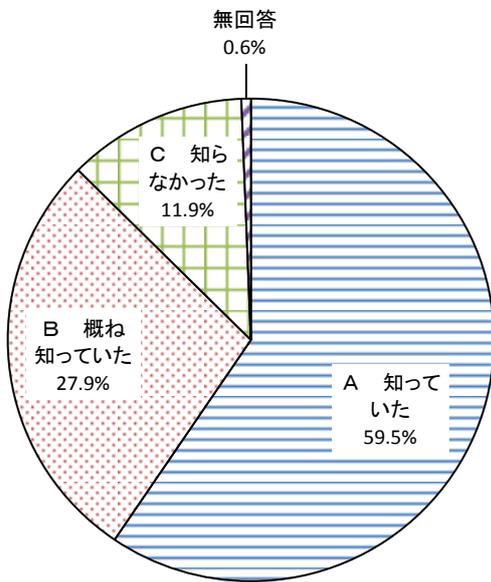
N=2068

(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	E	無回答
全体合計		2,068	45	352	679	559	373	60
		100.0%	2.2%	17.0%	32.8%	27.0%	18.0%	2.9%
性別	男性	845	16	116	291	235	157	30
		100.0%	1.9%	13.7%	34.4%	27.8%	18.6%	3.6%
性別	女性	1,214	29	235	387	322	213	28
		100.0%	2.4%	19.4%	31.9%	26.5%	17.5%	2.3%
行政区別	中央区	479	15	114	179	102	61	8
		100.0%	3.1%	23.8%	37.4%	21.3%	12.7%	1.7%
	東区	541	10	96	163	157	96	19
		100.0%	1.8%	17.7%	30.1%	29.0%	17.7%	3.5%
	西区	250	3	41	87	69	41	9
		100.0%	1.2%	16.4%	34.8%	27.6%	16.4%	3.6%
行政区別	南区	373	8	40	117	112	86	10
		100.0%	2.1%	10.7%	31.4%	30.0%	23.1%	2.7%
行政区別	北区	417	9	61	132	118	85	12
		100.0%	2.2%	14.6%	31.7%	28.3%	20.4%	2.9%
年齢区別	18~29歳	169	4	23	65	49	25	3
		100.0%	2.4%	13.6%	38.5%	29.0%	14.8%	1.8%
	30~39歳	275	6	41	100	75	51	2
		100.0%	2.2%	14.9%	36.4%	27.3%	18.5%	0.7%
	40~49歳	339	7	58	137	89	44	4
		100.0%	2.1%	17.1%	40.4%	26.3%	13.0%	1.2%
年齢区別	50~59歳	378	10	70	115	102	79	2
		100.0%	2.6%	18.5%	30.4%	27.0%	20.9%	0.5%
年齢区別	60~69歳	544	9	96	163	150	107	19
		100.0%	1.7%	17.6%	30.0%	27.6%	19.7%	3.5%
年齢区別	70~79歳	359	9	64	99	94	65	28
		100.0%	2.5%	17.8%	27.6%	26.2%	18.1%	7.8%

問8 あなたは、熊本市の人口が将来減少見込みであること、また少子高齢化が進展見込みであることについて知っていましたか。（1つだけ）

【全体合計の割合】



【集計分析】

- 全体では、「知っていた」と回答した人が約60%であり、「概ね知っていた」と合わせると約88%を占める状況である。
- 区別では、全体と比較して傾向に大きな違いは見られない状況である。
- 年齢別では、高齢なるほど「知っていた」と回答する人の割合が多く、60歳以上では約70%が「知っていた」と回答しているが、18～29歳では約29%が「知らなかった」と回答しており、若年層への浸透が今後重要である。

N=2068

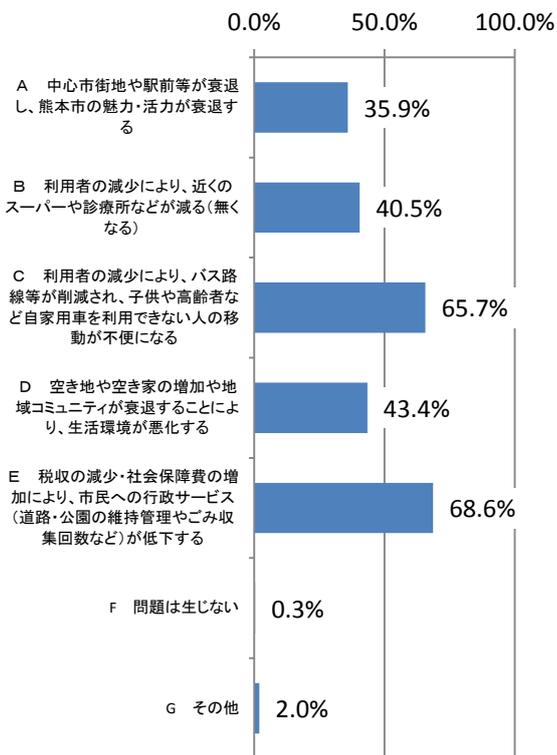
(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	無回答
全体合計		2,068 100.0%	1,230 59.5%	578 27.9%	247 11.9%	13 0.6%
性別	男性	845 100.0%	527 62.4%	238 28.2%	74 8.8%	6 0.7%
	女性	1,214 100.0%	697 57.4%	339 27.9%	173 14.3%	5 0.4%
行政区別	中央区	479 100.0%	292 61.0%	136 28.4%	51 10.6%	0 0.0%
	東区	541 100.0%	321 59.3%	155 28.7%	60 11.1%	5 0.9%
	西区	250 100.0%	151 60.4%	66 26.4%	30 12.0%	3 1.2%
	南区	373 100.0%	214 57.4%	98 26.3%	60 16.1%	1 0.3%
	北区	417 100.0%	247 59.2%	122 29.3%	46 11.0%	2 0.5%
年齢区別	18～29歳	169 100.0%	73 43.2%	47 27.8%	49 29.0%	0 0.0%
	30～39歳	275 100.0%	123 44.7%	98 35.6%	54 19.6%	0 0.0%
	40～49歳	339 100.0%	177 52.2%	114 33.6%	48 14.2%	0 0.0%
	50～59歳	378 100.0%	231 61.1%	108 28.6%	38 10.1%	1 0.3%
	60～69歳	544 100.0%	371 68.2%	127 23.3%	41 7.5%	5 0.9%
	70～79歳	359 100.0%	253 70.5%	84 23.4%	17 4.7%	5 1.4%

# I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について

問9 あなたは、人口減少・超高齢社会が進展すると、具体的にどういった問題が生じると思いますか。（3つまで）

## 【全体合計の割合】



## 【集計分析】

●全体では、「税金の減少・社会保障費の増加により、市民への行政サービスが低下する」ことへの懸念が約69%と最も高く、次いで「利用者の減少により、バス路線等が削減され、子供や高齢者など自家用車を利用できない人の移動が不便になる」が約66%と高い状況である。

●区別では、全体と比較して傾向に大きな違いは見られない状況である。

●年齢別では高齢者になるほど「空き地や空き家の増加や地域コミュニティが衰退することにより、生活環境が悪化する」に対する危機意識が高い状況である。

## 【その他 主な意見】

- ・国保、介護保険料の負担増加
- ・若者の年金負担の増加
- ・労働力の低下 など

N=2068

(上段：人 下段：%)

		合計	A	B	C	D	E	F	G
全体合計		2,068	742 35.9%	837 40.5%	1,358 65.7%	897 43.4%	1,418 68.6%	7 0.3%	41 2.0%
性別	男性	845	325 38.5%	323 38.2%	497 58.8%	386 45.7%	586 69.3%	3 0.4%	21 2.5%
	女性	1,214	415 34.2%	510 42.0%	857 70.6%	508 41.8%	829 68.3%	4 0.3%	20 1.6%
行政区別	中央区	479	187 39.0%	217 45.3%	307 64.1%	189 39.5%	324 67.6%	2 0.4%	12 2.5%
	東区	541	180 33.3%	215 39.7%	366 67.7%	235 43.4%	387 71.5%	2 0.4%	10 1.8%
	西区	250	98 39.2%	89 35.6%	165 66.0%	112 44.8%	156 62.4%	1 0.4%	3 1.2%
	南区	373	135 36.2%	138 37.0%	227 60.9%	164 44.0%	261 70.0%	0 0.0%	9 2.4%
	北区	417	139 33.3%	174 41.7%	290 69.5%	194 46.5%	287 68.8%	2 0.5%	7 1.7%
年齢区別	18~29歳	169	69 40.8%	67 39.6%	104 61.5%	47 27.8%	113 66.9%	3 1.8%	6 3.6%
	30~39歳	275	108 39.3%	96 34.9%	154 56.0%	106 38.5%	218 79.3%	1 0.4%	8 2.9%
	40~49歳	339	133 39.2%	117 34.5%	221 65.2%	145 42.8%	258 76.1%	0 0.0%	10 2.9%
	50~59歳	378	130 34.4%	157 41.5%	263 69.6%	179 47.4%	273 72.2%	1 0.3%	7 1.9%
	60~69歳	544	177 32.5%	253 46.5%	372 68.4%	258 47.4%	349 64.2%	0 0.0%	8 1.5%
	70~79歳	359	125 34.8%	145 40.4%	243 67.7%	161 44.8%	206 57.4%	2 0.6%	2 0.6%

問10 今後の熊本市のまちづくりについて、あなたが望むことをご記入ください（自由記載）

## 【主な意見】

- ① 交通について 約25.2%（342件）
- ・ 東の方に住宅が増えているのに道路や交通機関の整備が追いついていない
  - ・ バス路線が分かりづらい。路線図やバスの記号の表記をもう少し分かりやすく、周知して欲しい
  - ・ 熊本は大半の高校生が自転車通学です。せめて高校周辺は自転車優先の整備希望します
  - ・ せっかくの自然環境があるのに、バスや車が多く空気が悪い。市電、JRの増便等で住みやすいまちにしてほしい
  - ・ 朝タラッシュ区間（渋滞区間）はほぼ決まっているので、その改善をしてほしいです
  - ・ 交通アクセスの改善、立体交差点への改善。市電を長嶺まで延長。県の総合運動公園まで
  - ・ バス・市電の便が少なく、交通網も悪く通勤や街中での飲酒時にも使える状態ではない
  - ・ 公共交通機関を利用する際、中心部に行ってからしか、他の目的地へいけないのが不便。もう少し動きやすい経路にしてほしい
  - ・ 福岡市や京都市バスターミナルなどは市民にも観光客などにも分かりやすく、利用しやすかったので熊本もそうになってほしい
  - ・ 公共交通網の充実。熊本は良いところが「点」としてはあるが、「線」として繋がっていない
  - ・ パークドームやアクアドームの方へ市電があると、もっと利便性が上がり、活用が増えると思う
  - ・ 高齢化が進むと徒歩や自転車などで移動する人が増える。歩道と自転車の道を明確に分けてほしい
  - ・ 公共交通機関の充実（維持）と本数の適正化は、車を持たない者の自由に大きく関わってくると思うので、更なる充実を望みます
  - ・ 公共交通（バス）が時間通り動けるよう、市内に流入する車の量をコントロールする。バスの方が時間通り動けてあげれば、使う人が増えるように思う。多少強引にしなければ変わらない など
- ② 住環境について 約14.7%（200件）
- ・ 都市型自然災害対策。空き屋の解消
  - ・ ひとり暮らしでも安心して生活できるよう、地域の安全、コミュニケーションの場があればいいと思います
  - ・ 10分くらい（徒歩）で買い物に行けるスーパーがあり、診療所（総合～外科内科）がある街づくりを望みます
  - ・ 空き家問題の対策を早く
  - ・ 自然が豊かなまちづくり
  - ・ 街灯を増やしてほしい。夜道が暗い
  - ・ ジョギングコースや公園などを増やしてほしい など
- ③ 地域振興について 約19.6%（266件）
- ・ 若者が就職できる魅力ある企業を誘致し、公共交通機関などに力を入れること
  - ・ デパートやショッピングモールなどを街中に増やしてほしい。中心部に華やかさと魅力がないのが問題
  - ・ 熊本駅前を賑やかにしてほしいです。熊本の顔でもあるので、人の行き来で活性化を願いたいです
  - ・ 中心市街地だけでなく、東西南北区それぞれに魅力ある街づくりとコミュニティの充実が必要だと思います
  - ・ Uターン、Iターン等による若い人口の流入、若い人たちが起業しやすい行政のサポート等
  - ・ 古い建築物などを魅力的に活用して欲しいです。都会化せず活性化していけるような熊本のまちづくりをぜひ見てみたいです など
- ④ 子育て・教育について 約13.2%（179件）
- ・ 少数精鋭、教育の質と文化継承の推進
  - ・ 出産・育児をする女性について、公務員のような福利厚生を小さな企業までもつようにすべきである。そのための税金投入が必要と思う
  - ・ 子どもを出産してもすぐ働けるよう、保育園の充実。それに働く時間の短縮（子供が小学卒業するまで）
  - ・ 子どもをよりよく育てる為のコミュニティも必要と思います
  - ・ 家庭環境によって教育を受ける権利に差が生じないような支援体制を整える など
- ⑤ 福祉について 約12.0%（163件）
- ・ 高齢化により生ずる弱者が生活しやすいような環境づくり
  - ・ 高齢者中心のコミュニティの実現。高齢者に対する見守りシステムの構築。若年者が作る文化に頼ると高齢者は疎外感を感じる
  - ・ 元気な高齢者が気軽にボランティアに参加できて、生きがいを持てるような地域づくりをしてほしい
  - ・ 高齢者が住み良い、終活が出来る施設を増やしてほしい
  - ・ 若い世代と高齢者が、お互いに協力し支えられるまちづくりを望みたい など
- ⑥ その他 約14.5%（196件）
- ・ 熊本は金の使い方が集中してなく、無駄が多い。都市計画税を徴収していながら、都市計画が見えない。行き当たりばったりの政策しか感じない など